

第5回JACDS薬剤師学術セミナー

2021年3月14日(日)、第5回JACDS薬剤師学術セミナーが開催された。本セミナーは、毎年JAPANDラッグストアショーの期間中に開催されており、日本漢方生薬製剤協会では啓発・アウトリーチ活動の一環として、セッションの1つを担当している。本年はコロナ禍のため、オンライン(Zoom)でのライブ研修として実施された。

「漢方薬の最近の動向 知っておきたい漢方の基本(漢方・製品情報)」をテーマに、広報委員会の本多正幸副委員長と一般用漢方製剤委員会の長島義昌委員長が講師を務めた。

本多副委員長は、はじめに生薬・漢方製剤の現状を説明し、今後の課題の取り組みとして、「国民の健康と医療を担う漢方の将来ビジョン研究会」の活動を紹介した。



【本多正幸氏】



【長島義昌氏】

長島委員長は、知っておきたい漢方の基本を解説し、薬剤師の先生方が漢方製剤等の服薬指導をする際に役立つような体質の診かたや漢方薬の選定のポイントを説明した。

初めてのライブ配信となったが、聴講者は200名を超え、漢方薬に対する関心の高さがうかがえた。